作文・日記がおうちで　楽・楽　書けるようになる

～音を言葉で表現してみよう～

「めをつぶって！よぉ～くきいてみて！どんなおとがするかな？」

パステル総研 ©2020

このプリントのねらい

パステル総研 ©2020

●目をつぶってじっと聞くことで　聞く力と注意力を高めます

●音を言葉で表現することで、言葉の表現力を養います

●音の発信源を探すことで、見る力と注意力を高めます

●見えたものを言葉で表現することにより、言葉の知識を増やします

（年中さんから小学校高学年のお子さんとお母さん向け）

このプリントの使い方

パステル総研 ©2020

●お母さんとお子さんと一緒に、目をつぶって耳をすませます

●「よぉーく聞いてごらん、どんな音が聞こえる？」
　お母さんはお子さんに声をかけてください

●音をひとつ選んで、お子さんの言葉でお子さんが自分で書きます
　できれば、○□○□（「カタカタ」など）の４音で

●目を開けて、音の正体を見つけます

●「よーく見てごらん、何が見える？」
　お母さんはお子さんに声をかけてください

●見えたものをお子さんが自分で書きます

●できたら、ごほうびのシールやスタンプをポン！

使い方のポイント

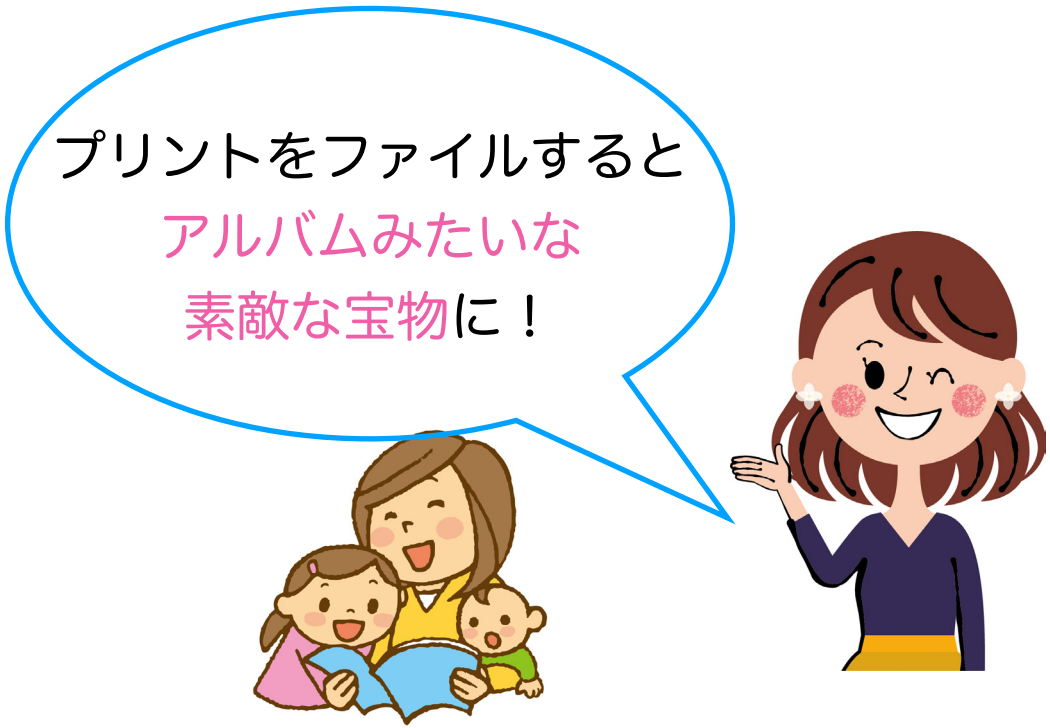
パステル総研 ©2020

●お子さんに聞こえたように、お子さんの言葉で書きます
●お子さんが自分で書けるなら、ぜひ自分で書きましょう
●枠から字がはみ出しちゃっても全部ひらがなだってOK！
●お子さんが自分で書けなければ、お母さんが代わりに書いてもOK！
●何枚もコピーして、繰り返し楽しんでください（A4版）
●iPadの場合は、iBooksで使うことができます
●プリントは、ファイルに大切に保管します

ママへのワンポイントアドバイス

パステル総研 ©2020

●お子さんの気分が乗らないときは、無理をせずに次のチャンスに！
●お子さんが一人で取り組むドリルではありません。必ずお母さんと一緒に！
●普段のおしゃべりの中で、お母さんも一緒に楽しみましょう



パステル総研 ©2020

困ったときは、こちらをチェック！

●発達障害・グレーゾーンの子どもの「言葉で言うのは苦手」を克服して、ぐんぐん発達！

→　https://desc-lab.com/18984/

●聴覚・視覚を刺激して、発達障害・グレーゾーンの子どもの「言葉で言うのは苦手」を克服して、ぐんぐん発達！～音を言葉で表現してみよう～

→　https://desc-lab.com/18986/

●【動画】

聴覚・視覚を刺激して、発達障害・グレーゾーンの子どもの「言葉で言うのは苦手」を克服して、ぐんぐん発達！～音を言葉で表現してみよう～

→　https://desc-lab.com/18988/

使い方　どんな音が聞こえるか？それはなんだったかを、
お母さんとお子さんで楽しくおしゃべりして、書き出してみましょう。

がんばったね！
シール

めをつぶって！　よぉ〜く　きいてみて！　どんな　おとが　するかな？〜

① どんな音(おと)がする？

（例）　カ　タ　カ　タ

または

「　ブーオーンガリガリ　」など

□　□　□　□

または

「　　」

目(め)を開(あ)けて、よぉ〜く見(み)てみよう！

② それは、

（例）　いすをうごかすおと　です。

または

「　くるまのおと　」です。

□　です。

または

「　　」です。

使い方　どんな音が聞こえるか？それはなんだったかを、
お母さんとお子さんで楽しくおしゃべりして、書き出してみましょう。

パステル総研 ©2020